

タイトル	ひとり語り「政子の想いを誰が知ろうか」の開催について
担当課	企画財政部 協働まちづくり課 担当：久保田絵梨 (電話：055-948-1412 内線：2323)

1 開催の目的

いずのくに大使である女優・大塚良重氏のひとり語りと、紙切り作家・水口千令氏の切り絵のコラボレーションにより、北条義時ゆかりのまち、歴史のまちとしてのシティプロモーションを行う。また、現在計画を進めている文化財展示施設の設置に向けて、郷土の歴史・文化に対する市民の一層の理解促進を図る。

2 開催要領

日 時：令和6年3月30日（土）14時～16時30分（開場13時30分）

場 所：韮山時代劇場大ホール（伊豆の国市四日町772）

定 員：400名（事前申込不要）

入場料：無料

3 概要

(1) ひとり語り「政子の想いを誰が知ろうか」

ひとり語り/大塚良重氏、切り絵/水口千令氏

(2) 解説「政子が見た風景」

市学芸員・荻野さおりによる歴史解説

(3) クロストーク「頼朝を愛した女たち」

大塚氏、水口氏、荻野学芸員によるトーク

4 その他（追加事項）

イベント当日、韮山時代劇場1階ロビーにて、病床にあった鎌倉幕府2代将軍・源頼家の病状を知るために北条政子が彫らせたといわれる「源頼家公病相の面（光照寺寺宝）」を特別展示することが決定しました。

また、2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の撮影で俳優が使用した衣装や小道具、美術（劇中で運慶が彫った義時像）などの一部も特別展示することが決定しました。

光照寺「源頼家公病相の面」▶



尼御前の悲哀



政子の想いを
誰が知ろうか

あの「ひとり語り×切り絵」が ついにアンコール再演

3月30日(土) 令和6年

14時00分～16時30分
(開場13時30分)

会場 / 葦山時代劇場大ホール
定員 / 400名 入場無料 (申込不要)

伊豆の国市とゆかりの深い北条政子。
伊豆に生まれ、源氏の嫡流 源頼朝の妻となり、
次々と身内を失いながら鎌倉幕府の礎を築いた彼女の生涯を
いずのくに大使・大塚良重さんのひとり語りと
紙切り作家・水口千令さんの切り絵でお届けします。

2022年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をきっかけに誕生した
奇跡のコラボレーションが、熱いアンコールに込め再演します。
市学芸員の解説と、3人のこぼれ話クロストークもお楽しみに。

ひとり語り
「政子の想いを誰が知ろうか」

ひとり語り / 大塚良重 (いずのくに大使)

解説
「政子が見た風景」

荻野さおり (市学芸員)

クロストーク
「頼朝を愛した女たち」

大塚良重 × 水口千令 × 荻野さおり



ひとり語り
大塚良重
いずのくに大使

切り絵
水口千令
紙切り作家

問合せ / 伊豆の国市協働まちづくり課 TEL 055-948-1412